

右脚保温機器の製作

1 相談内容

相談者は血行障害のため、夏場でも足が冷えてしまって保温が必要という方です。冬場は特に足の保温が大変で、たくさんの毛布生地を巻いているとのことでした。効率良く足を暖め、保温できるようにバッテリー式の発熱体が入ったひざ掛けを購入したので、そのひざ掛けを足に巻きつけるように改造して作ってほしいと依頼がありました。また、ひざ掛けに内蔵されていた発熱体の面積が狭いとのこと、それを2枚購入され、1つにして保温面積を増やしたいとの要望がありました。

そこで発熱体2枚をつないで1枚にし、マジックテープで止める部分を付け足して巻きつける方法を提案しました。本人もそれで試してみたいと納得されたので、製作することにしました。

2 利用者プロフィール

60代男性、20代のころに交通事故で右脚を複雑骨折し、右下肢血行不全のある方です。

3 対応

2枚の発熱体(電熱線の入ったカバー)を糸でつなぎ、1本1本の電熱線を仕切って糸で縫います。そして、それを脚に巻けるようにマジックテープを左右の端へ縫い付けます。電気的な改造は全く行わなかったため、配線はバッテリーに2本とも接続して使います。低温やけどをしないように毛布生地を右脚にあててから、その上に発熱体を巻き、更に保温効果を高めるために毛布生地を巻きます。



2枚をつなげて1枚にした発熱体



右脚に巻いた様子(右手にバッテリー)

4 結果

本人からは「おかげで助かっております。」との感謝の言葉をいただきました。